

電子調達・電子登録システム等再構築について

新システムのポイント

- ASP・SaaS型システムによる運用経費の縮減
機能拡大するにもかかわらず、導入費は当初開発の約3分の2、運用経費は現在の3分の1以下となる。
- 物品、委託役務における電子入札の実施
- 工事等成績評価システムの対象を工事関連業務まで拡大

●これまでの経緯

- ・システム機器のリース期間が平成26年度末で満了する。
- ・平成17年度に自庁舎にシステム構築、稼働し、リース期間満了時には10年経過する。

●現状の課題

- ・OS及びブラウザ等の環境の変化の度に、動作確認を行う必要がある。
- ・法律改正等による運用等の変化の度に、システム改修を行う必要がある。
- ・システムを所有することによる日常の運用に係る負担がある。
- ・物品、委託役務における電子入札、工事関連業務の成績はシステム化に対応していない。

機器を更新するだけでいいのだろうか

機器を更新する必要がある。

解決できるシステムはないだろうか

- ・改修費、人件費等のコストがかかっている。
- ・機能を拡大すると新たなコストがかかる

そこで

ASP・SaaS型システムの特徴

- ・OS及びブラウザ等の環境の変化対応は利用料に含む。
- ・法律改正等による運用等の変化対応は原則利用料に含む。
- ・システムを所有しないため、日常の運用に係る負担がない。
- ・拡大機能を含むパッケージを導入すると新たに発生するコストは少ない。

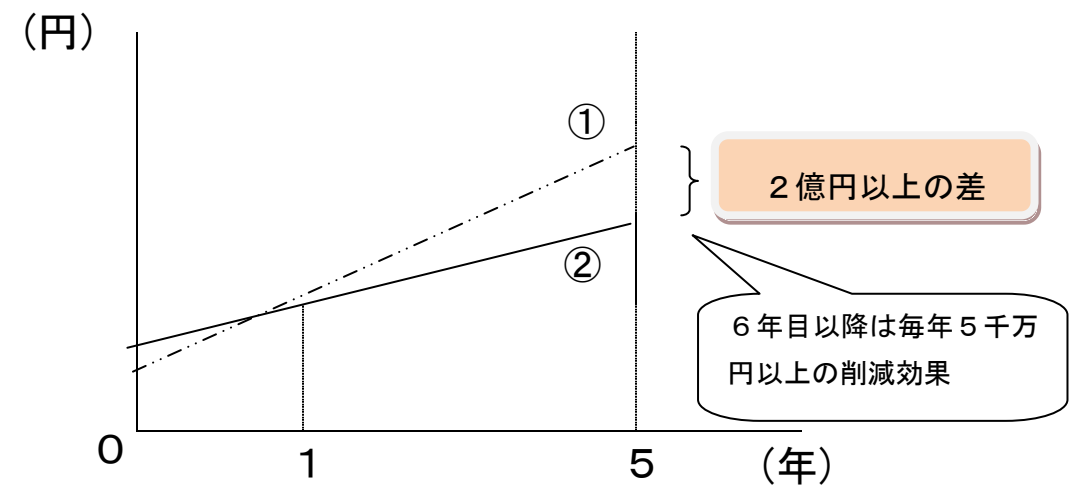
課題を全て解決することができる。

【削減効果】

- ① 現行システムのままで機能拡大し、機器のみの更新を行った場合
 - ② ASP型システムを導入し、再構築した場合
- (千円)

| | 一時経費 (導入費用) | 運用経費 | | 合計 |
|----|----------------|--------|---------|---------|
| | | 1年間 | 5年間計 | |
| ① | 103,919 | 73,734 | 368,670 | 472,589 |
| ② | 126,000 | 23,039 | 115,195 | 241,195 |
| 差額 | -22,081 | 50,695 | 253,475 | 231,394 |

5年間で2億円以上の削減効果



※参考

当初開発費（平成15年度～平成17年度）
209,874千円

ASP・SaaS型システムは大きなメリットがある